

ロータリー月例報告書 vol.6

留学先：レッジョエミリア音楽院（イタリア）

12月を迎え、比較的暖かい日が多いものの雨が多く、時折ある寒い日との寒暖差が激しい最近のイタリアです。クリスマスシーズンを迎え、イルミネーションやクリスマスマーケットなどを多く見かけられる時期となりました。キリスト教、中でもカトリック教徒が大多数を占めるイタリアでは、キリスト生誕を祝うクリスマスが一年で最も重要な祭日の一つです。これに合わせて街中は多くの飾り付けをされており、普段見ていたものとまた違った様子を見ることができます。現在居住するレッジョエミリアでも街の細部に可愛らしい装飾が施されており、こうした煌びやかな街並みを見られることに、ささやかな幸せを感じています。

さて、今月に入り学校内外でコロナの流行が加速、レッスンや授業も半数近くが体調不良もしくは陽性で欠席という大流行を迎えていましたが、そんな中でついに私も陽性になり、自宅に隔離という事態になりました。

イタリアでは現在薬局にて有料で抗原検査を受けることができ、また正式な手続きをするためにはホームドクターへPCR検査の手配を依頼する必要があります。今回、発熱した当日19時に予約なしで薬局へ検査に行ったところ、その場で扱ってもらえず、翌日の午前中に指定の薬局・もしくは明後日の夕方に別の指定の薬局どちらかに検査に行ってくださいね、と提示を受けました。小さな街であることやその体制を考えると当然ではあるものの、検査ができる時間や場所が非常に限られ、また検査自体も狙って受けようと思わない限り受けられない状況となっており、衝撃を受けました。

イタリアでの医療システムは、国民皆保険ではあるもののホームドクターへの予約が非常に日数を要することや、すぐに受診可能な私立病院は費用が高額であることなど問題点も少なくなく、やはり今回体調を崩した際の不安は日本で感じるよりも殊更大きいものでした。こちらでもインフルエンザなどの流行が始まっていますが、現在イタリアにおいてマスクを着用している人は、公共交通機関や人混みで着用している人が一部見受けられるものの、基本的には極めて少数と感じています。気をつけていても避けられない場合があることは否定できないものの、しかしできる限りの予防対策はとり、健康に留意の上で行動していきたいと改めて感じる一件でした。

さて、今月はクリスマスに関連する演奏会についていくつか写真を掲載させていただきます。まずクリスマス数日前に同級生が地元の合唱団と共演すると聞き、レッジョエミリアからバスで20分ほどかかる、小さな街の教会での演奏会に行きました。今回とても素敵だと思ったのは、彼女と合唱団の関係性です。プロフィール紹介の際に「この街で育った彼女を知らない人はいないと思います」と説明を受けて登場し、また観



レッジョエミリアのクリスマスイルミネーション

客たちの暖かな雰囲気にもまれて歌っている様子を見ました。もちろん世に出て活躍するという事は一つの理想の形で素晴らしいことだと認識しますが、彼女の様子から、地元で愛されるスターといった形で活躍をする姿もまた、微笑ましく素晴らしいことだと感じました。

また、クリスマス当日はフィレンツェで夜のミサに参加しました。現地で合唱団を受け持っておられる知り合いの方からお誘いをいただき、クリスマスの一番重要なタイミングで行われるミサのコーラスと一緒に歌うという、とても貴重な経験をさせていただきました。またこの歌わせていただいた教会には、14世紀イタリア絵画を代表するジョットの描いた十字架、ボッティチェリの絵画など歴史的価値の高いものが数多く飾られており、そういった由緒ある歴史的な教会で歌わせていただけたことは、私にとって大きな喜びでした。



カヴリアーゴでのクリスマスコンサート



フィレンツェ オンニッサンティ教会でのミサ

今月1月半ばにはレッジョエミリアのロータリークラブ様の会食に伺える運びとなり、拙いイタリア語での交流に粗相が無いようにと緊張もありますが、他の地域のロータリアンの皆様と交流ができることをとても楽しみにしております。折角の機会ですので、沢山の方と接点を持つことができればと願うところです。また改めてご報告させていただきます。

末筆となりますが、皆さまのご健康をお祈りすると共に、今後ともご厚情を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



美しかったジェノヴァ港からの景色を合わせて掲載します